第4次広島市食育推進計画(素案)に対する市民意見募集の結果について

1 市民意見募集期間

令和4年1月19日から2月10日まで

2 募集方法

- (1) 本市ホームページへの掲載
- (2) 窓口での閲覧(健康推進課、公文書館、各区区政調整課、各区地域支えあい課)
- (3) 広報紙「ひろしま市民と市政」へ募集記事を掲載(2月1日号)

3 受付方法

郵送、FAX、窓口への持参及び本市ホームページの応募フォーム

4 応募件数

11件(6人)

5 意見への対応

区 分	件数
(1) 意見の趣旨を計画に反映させるもの	3件
(2) 既に意見の趣旨が計画(素案)に盛り込まれているもの	1件
(3) 今後の事業への活用について検討するもの	7件
計	11件

6 意見の要旨と本市の考え方

(1) 意見の趣旨を計画に反映させるもの [3件]

	関連する 基本方針等	意見の要旨	本市の考え方
1	全体 [P2,9,13,18,19]	SDGsのアイコンが各所に配置されているが、白抜きのオリジナルデザインとなっている。 国連広報センターで公表されているアイコン (白黒)を使用すべきではないか。	計画書は白黒で作成することから、御意見を踏まえ、国際連合広報センターが公表している白黒デザインアイコンに変更します。
2	第4 基本方針2 (4) [P16]	旬の食材は、栄養が優れているだけでなく、化石燃料を使用せず育てるため、地球温暖化の防止につながる。地産地消と併せて計画に取り入れて欲しい。	旬の食材を活用することは、地産地消の推進と合わせて持続可能な食を支える上で重要であることから、御意見を踏まえ、「基本方針2-(4)ひろしまの地産地消を普及する取組の推進」に、「旬の食材の活用」を明記します。
3	第5 計画の進行 管理 [P22]	PDCAサイクルの中で「中間見直し」が ActionからDoに飛んでいる理由はなにか。 ショートカットを作ってしまうことに大きな違和 感を覚える。	食育推進会議において、中間見直しだけでなく、 毎年度、計画の進行管理を行うことから、御意見を 踏まえ、図を変更します。

(2) 既に意見の趣旨が計画(素案)に盛り込まれているもの [1件]

	関連する 基本方針等	意見の要旨	本市の考え方
4	第3 第4次計画 の基本的な 考え方 [P7,8]	基本理念・キャッチフレーズ・目標・基本 方針の関係性がわからない。基本理念を実現 するために基本方針があって、方針の目標 設定をした上で、広報戦略がキャッチフレーズ ではないのか。 広島市としての基本理念を再確認して、 それをキャッチフレーズや方針として強く打ち 出せる体系としていただきたい。	本計画の基本理念は第1次計画から一貫したものとしています。また、キャッチフレーズはご指摘いただいた考え方の下、第2次計画策定時に作成したものであり、第4次計画においても引き続き掲げています。 さらに、基本理念を実現するための目標(指標)を掲げるとともに、目標を実現するための基本方針をお示ししています。

(3) 今後の事業への活用について検討するもの [7件]

	関連する 基本方針等	意見の要旨	本市の考え方
5	第4 基本方針1 (1) [P9,10]	栄養バランスのとれた日本型食生活について、「*食事バランスガイド」を活用することが、市民にとって一番わかりやすい方法ではないか。 ※平成17年に厚生労働省と農林水産省が策定したもので、望ましい食事のとり方やおおよその量が分かりやすくイラストで示されているもの。	食事バランスガイドは、これまでも栄養相談等の 媒体として活用しており、第4次計画においても、 「基本方針1-(1)-ア『人生100年時代』に向け、健康 寿命の延伸を目指したライフステージに応じた取組 の推進」に係る施策を展開する中で活用してまいり ます。
6		和食の基本である「だし」の活用を推進して 欲しい。	減塩には「だし」の活用が重要であることから、これまでも栄養相談等で啓発しており、第4次計画においても、「基本方針1-(1)栄養バランスや減塩に配慮した食生活の推進」に係る施策を展開する中で啓発してまいります。
7	第4 基本方針1 (1) 基本方針2 (1) [P9,10,13]	家族や友人とゆっくりと栄養バランスの良い 食事を楽しみ、運動やストレス発散をしやす い、健康づくりを楽しめるまちづくりをして欲し い。	本計画は、本市の健康づくり計画「元気じゃけん ひろしま21(第2次)」とも連携し、運動や休養の 視点も取り入れながら、食生活の改善と健康増進に ついて、一体的に進めてまいります。
8	第4 基本方針1 (1) 基本方針4 [P9,10,19]	新型コロナウイルス感染症まん延の長期化は、健康保持に深刻な影響を与えており、「コロナうつ」など、心や身体への症状、特に便秘を訴える事例が増えている。 そのため、健康増進の観点から、保健センターにおいて市民からの相談を受ける際、管理栄養士と医師、保健師等が食生活と健康増進についての情報や問題意識の共有を図る体制を整備する必要があるのではないか。	本計画は、本市の健康づくり計画「元気じゃけん ひろしま21(第2次)」とも連携し、食生活の改善と 健康増進について、一体的に進めてまいります。 また、健康増進の体制づくりについては、基本 方針4に掲げる食育推進運動の展開の中で、関係 機関等と連携を図りつつ進めてまいります。

	関連する 基本方針等	意見の要旨	本市の考え方
9	第4 基本方針2 (1)(4) [P13,16]	市役所本庁舎や区役所にある職員食堂を「広島わ食・レストラン(仮称)」としてリニューアルし、提供するメニューにはすべて地元産品を活用するとともに、丸テーブル等の導入により、新たなコミュニケーションの場として再生させてはどうか。 利用対象を職員や来庁者だけでなく、広く市民や国内外からの観光客等にも拡げることにより、食育推進計画の実現に向けた広島市の先導的役割が果たせるとともに、「国際平和文化都市広島市」のイメージアップにもつながるのではないか。	ご提案は、国際平和文化都市の実現を目指す本市としては、広島に住む市民にとっても、広島を訪れる人にとっても、魅力ある文化的雰囲気あふれるまちづくりに資するものですが、職員のみの優遇になるといったご指摘も考えられることから、第4次計画を進める中で、しっかり検討してまいります。
10	第4 基本方針2 (4) [P16]	米は広島県産、野菜は○○農園産など、 広島市民の「食に対するこだわり」を促進する 取組を行ってはどうか。	ひろしまの食材についての関心を高めることは 重要であることから、「基本方針2-(4)-ア『ひろしま 地産地消の日』の推進など地産地消の大切さの 普及啓発」に係る施策を展開する中で、検討してま いります。
11	第 4 基本方針 4 [P19]	食育に関する担い手を対象に、食育に関する勉強会を開いて欲しい。	食育推進の担い手が主体的に食育を推進することは重要であることから、「基本方針4-(2)食育推進の担い手間の相互連携の促進」に係る施策を展開する中で、勉強会等を開催してまいります。